

シルバーとよなか

# ふれあい

2003年8月

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.37



理事長  
水上 利夫

本日は、平成十五年度社団法人豊中市シルバー人材センターの通常総会を開催いたしましたところ、大変お忙しい中、このように多くの会員の皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございます。

本年度の通常総会を開くにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

確か、昨年度の通常総会におきまして当時の新聞紙上の「景気底入れ」記事や政府の大変控え目な「底入れ宣言」に対し、実態経済の面からは一

向に実感が伴わないことを申し上げましたが、昨今の状況は相変わらずデフレの進行が止まらず、株価は長期低迷するなど、重苦しい景況が続いております。

また世界が注目したイラク戦争も短期に終結しましたものの、北朝鮮の核問題、中国を中心とした新型肺炎サーズの感染の広がりとそれに伴う海外の渡航制限など、難問は山積しており、一つ間違えば日本経済にさらなる打撃を与えかねない状況にあります。

このような社会経済情勢のもとで医療や年金等の社会保障制度の面では、個人の自助努力や自己負担を要請する方向の改革が相次ぎ、高齢者にとって益々厳しい時代の到来が予感され、当シルバー人材センター事業の責任の重さを痛感させられるも

のがあります。

さて、このような厳しい情勢下ではありますが、当センターの平成十四年度の事業実績を見ますと、会員数は一、六九六人、就業率は七二・五％、契約高では、景気の状態等から落ち込みを心配しておりましたが、前年度に比して二十三％増の六億二、九二万円と、初めて六億円を超える実績を上げることが出来ました。

これはひとえに、会員の皆様のご努力と、豊中市を初め関係行政機関・ご団体並びに多くのお客様のご支援の賜物と深く感謝いたしているところでございます。

また昨年度の事業内容では、新しく事業運営委員会、独自事業推進プロジェクト委員会を立ち上げましたが、両委員会とも活発に推進され

に助け合いながら、積極的に社会参加をされますことは活力ある地域社会づくりを進めていくにあたりまして、誠に心強い限りであります。

さて、厚生労働省の平成十五年度予算では、シルバー人材センターにより子育て支援事業として、乳幼児のお世話や保育施設との送迎などの育児支援や就学児童に対する放課後、土曜日、日曜日における学習、生活指導等の支援を行う事業が創設されております。

また、シルバー人材センター事業の推進にも、昨年度より多い予算が計上されているなど、シルバー人材センターへの期待は非常に大きいものがございます。

どうか皆様方には今後とも、時代の要

順調に成果を上げてまいっております。

さらに本年は独自事業のよりバツクアップをはかるべく、大阪府シルバー人材センターと大阪府が新たにシルバー向け事業の企画募集を行うなど取組みを決定しており、今後これと相俟って就業分野開拓をより積極的に進める他、運営面、事業面でもさらなる成果を上げる努力をいたしてまいりたいと考えております。

本日の総会には、平成十五年度の事業計画等重要な議案を提出いたしておりますので、十分ご理解・ご審議を賜り、実りある総会にしたいだけたらと存じます。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、開会にあたってのご挨拶といたします。

請と市民ニーズに充分に応え、自主自立共働共助の精神に立つた「アクティブ・エイジング」の実現に向けまして、一層ご尽力賜りますようお願いを致しております。

不況の影響等により、失業率も高く、就業の場の確保は大変難しい状況にあります。本市と致しましては引き続き、雇用創出に努めて参りたいと思っております。皆様方には、どうか健康にご留意頂き、いつまでも元気で働いて頂きたいと思っております。

終わりに、豊中市シルバー人材センターの今後益々の発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。ご挨拶と致します。



豊中市長  
一色 貞輝

豊中市シルバー人材センターの平成十五年通常総会が開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

平素皆様方には、本市の高齢者福祉の増進に格別のご支援、ご協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。

豊中市シルバー人材センターは、高齢者の就業と生きがいの場として設立されて以

来、順調に発展をされ、今では約千七百人の会員を擁する組織として、また、契約高が六億円を超えるなど、就業率、事業実績とも、着実な成果をあげておられました。これもひとえに水上理事長さんをはじめ、役員の方々並びに会員の皆様方のため、ご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

ご承知のとおり、我が国の平均寿命は八十歳を越え、世界一の長寿国となっております。

本市の六十五歳以上の人口は六万四千人を越え、高齢化率も十八％を越えております。

今後益々高齢化率が伸びていく中で、皆様方が豊かな経験と能力を生かされ、共

# 平成15年度 通常総会成功裡に終わる



豊中市議会議長  
平田 明善

社団法人豊中市シルバー人材センターの平成十五年通常総会が開催されるにあたり、市議会を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。  
皆様方には、平素から市議会活動に対し、何かとご支援・ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

ます。

さて、わが国では長寿化が世界で最も進む中、だれもが健やかに快適で充実した生活がおくれる社会を築くことは、国や地方自治体にとりまして極めて重要な課題であります。

このような観点から、シルバー人材センターにおかれましては、自主・自立、協働・共助の精神に立ち、高齢者の雇用対策を通して社会参加と生きがいづくりに積極的な事業活動を展開され、多様な役割を担っていただき当市福祉施策の推進に多大なご貢献をいただいております。

ここに改めまして、水上理事長さんはじめ、役員の方々並びに会員の皆様方のご活躍に対し、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

今日、わが国を取り巻く経済状況は、金融不安やデフレ傾向の中、今年に入り、大手銀行に対する公的資金の注入などたいへん厳しい状況にあります。

また、失業率も高い水準を推移しており、就業率の向上を図るための雇用創出が望まれております。  
当市におきましても、行財政改革実施計画を定め、財政の健全

化に努めているところでありますが、市税の予想以上の減収等により極めて厳しい財政運営を強いられているところであります。

このような状況ではあります。が、市議会といたしましても、だれもが住んで良かったと言えるまちづくりのため、一層の努力をしてまいりたいと存じますので、今後ともご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。

おわりに、社団法人シルバー人材センターのますますのご発展と皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成十五年の通常総会は、五月三十日豊中市立アクア文化ホールに多くの会員の参加を得て開催。

第一部総会は、事務局の司会で進み、理事長の挨拶のあと、一色貞輝豊中市長さん、平田明善豊中市議会議長さんから温かい励ましの祝辞をいただき、引き続き議長選出に移り、議長に第二班小笹彰三さんが選ばれ、本年度の総会構成会員一、七四〇名に対し、出席会員九六〇名（うち委任状六一六名）で定款にもとづく総会設立を宣言。議事録署名人に、第二班大森一男さん、第十八班金子勝蔵さんが指名され、議事に入りました。議案第一号は、濱本光

彦さん、笹部智慧さん、野口高茂さん、藤澤弘明さんの辞任にともない、橋爪峰雄さん、丸目春三さん、村上茂之さんの役員選任について説明がなされ、全員異議なく承認された。次に、前年度に比べ二割増の事業実績状況等をまとめた議案第二号事業報告と議案第三号収支決算報告が一括して説明され、監事を代表して第十五班村田嘉康さんから監事報告が行われた。質問や意見もなく可決承認された。

続いて議案第四号平成十五年事業計画案、議案第五号平成十五年収支予算案が提案説明され、特に質問や意見もなく可決承認されました。

議長から平成十五年通常総会の議事はすべて終了した旨を伝える退任の挨拶があり降壇しました。

引き続き行われた第二部のアトラクションでは、たるま座の花丘奈果さんによる「さくらちゃんとおねえさんとの楽しいおしゃべり」の腹話術で会場の会員さんと和やかなひとときを過ごしました。

今年も総会の運営や準備に多くの会員さんや同好会がボランティアとして参画していただきました。ありがとうございました。また、ホワイエでは同好会（書道・美術・文芸）の作品を展示していただき、楽しい雰囲気を作ってくださいました。

## 独自事業A部会の状況報告



### A部会

第十五班

原 健一

現在の世相を考え、シルバー人材センターの将来を見つめると「独自事業」の事業化が焦眉の急と言えるでしょう。団塊の世代がシルバー人材センターの会員として参入したとき、就業希望を少しでも充たし、サポートできることが何かと見回したとき、独自で民間企業と競合しないで、しかも全く新しい事業というのは簡単に創設できません。現在A・B・C・Dの部会を四つにチーム分けしていますが、それとは別に部会を統

合したグループを存在させることも一案ではないかと考えております。

A部会では、一、経理・総務関係のアウトソーシングと二、自分史等の二つを柱に掲げ、直ぐに始められることとして、アンケートをとる作業をしたり、広告したりしています。A部会では、アウトソーシング、自分史等の事業という二本立てですが、アウトソーシングでは、技術者派遣事業も含めて仕事の中味を拡大すること、自分史等では、社内で使う規格に適合するような文書の作成すること等作業内容を広めていくことも事業範囲にする。基準を自分史等として進めると、字句に捕らわれて枠にはめてしまいそうです。

またシルバー人材センターの営業の方と打ち合わせを行い、営業に回るとき、話の中で宣伝をしていただくなどして頂いております。

経費を余り掛けずにいかに効率よく受注につながるかも課題です。更に、独自事業のメンバーがどのように営業活動をおこなうかなどの課題も未解決です。

自分史等では、リーダー及び副リーダーを選出し、行動を開始しています。今までに自分史でなく、教材の作成受注が一件ありました。

自分史を作ってみたいとおもっている人が、問い合わせをいただいたりしています。いまのこ

ろ実現しておりません。近々には、種類べつの見本と価格体系を作成し、営業活動の開始をしたいと考えております。チーム別会議（打合せ）も毎月一回及至二回定例化していますので早晚状況がつかめるようになるでしょう。

何を始めるにしても、産みの苦しみが伴うことは当然のことです。そのことも踏まえ、根気よく今後の対応をしてゆくことが大切と思っております。

私が、最近気が付いたことですが、独自事業を始めるに至った根本的なコンセンサスが欠落しているように感じられます。

最近、テレビを見ていますと、各地で活躍されているシルバー人材センターの会員が紹介されております。主に介護に関することが多いです。会員は異業種の交流と同じような会員構成ですので、ひと工夫すれば思わぬ事業の展開が生れることも考えられます。いずれにしても、強力なリーダーシップの発揮が要求されることでしょう。

独自事業は会員が主体で事業化を目指していますが、根本的にはシルバー人材センターの事業です。お互いが情報の交換をしながら更なる進展を切に望んでいる次第です。



## A部会 「自分史班」活動状況

第十五班

横野 浩三

昨年九月に実質スタートして以来、幾度となく協議を重ねてきましたが、未だ手探りの状態から抜け出せないのが実情です。

具体的な活動概況としては、二月にPRチラシとアンケート用紙を市内の全図書館・公民館へ三ヵ月程掲示・配布したり、センター事務局だよりと併せて会員へも配布して周知を図りましたが、何れも反応は乏しく期待していた成果は得られませんでした。しかし実際の仕事として完結し、集金まで果たしたのはエッセイの製本を目指した原稿の整理が初仕事でした。現在は引き続き、昨年末亡くされたご子息への切々たる思いを記録として残したいとある女性からの申し出に、どのように対応すべきか協議中の案件が一件、その他過日のアンケートなどによる問い合わせ対応実績の三件等が今日までの事業実績であります。

「自分史の編集出版援助作業」は、人それぞれの過去を文字にして、後世に残すという大変難解な仕事の一つを当センターが分担させていたということであって、今後の事業進展の限界を感じつつも、街中の専門業者とは一味違ったお手伝いでご満足を得る諸施策を模索しております。また、

「自分史」に止まらず「諸記念誌・諸作品集・商店史（事業史）」等の編集出版なども手がけていきたいと思っています。

我々のような素人集団へ実際の制作依頼がこれからも果たしてあるものだろうかと消極的な考えがいつも頭をよぎりますが、このような計画を持っておられる方は、一度是非私共に声をかけて下さいますようお願いいたします。

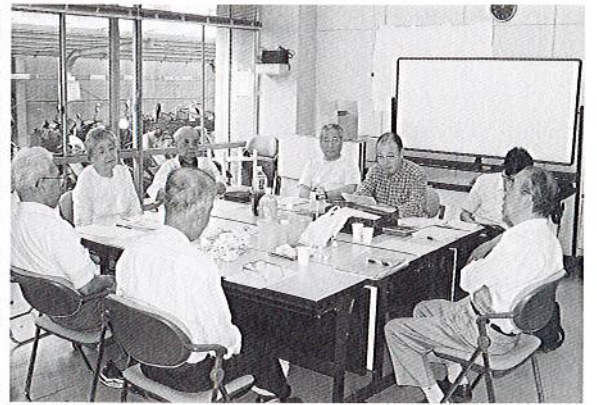
豊中市シルバー人材センター内志方氏まで へ〇六―六八五六―一七七七

### C部会

#### C部会の活動の将来

独自事業推進委員会の一部会であるC部会では、リサイクル事業にとり組んで来ました。

第一日のリサイクル・ショップの開店は四月四日と五日の二日間行われました。会場は、岡町商店



街の一番よい場所―スーパー・ライフの真向かいのエスカレーターを上がった二階でした。スペースは十五坪位ですが、結構人通りがあつて、その日、偶然立ち寄ったと云う方も随分おられたようで、売上にもつながったようです。

来場者も二日で七百人。売上も予想以上の好成绩でした。この結果に勇気づけられて、去る七月二十日・二十一日に第二回リサイクル・ショップを開催しました。雨模様の日が続き、心配していましたが、お陰で前回と同じような来会者を記録し、成功裡にリサイクル・ショップの店じまいをすることが出来ました。初日は三百名余、二日目は三百名弱と云うところでした。

さて、今後は、本格的なリサイクル・ショップ開業を目差して開

店準備室の開設を立ち上げることが決まった。

そのためには、一、スペースの確保、二、故物商免許についての確保、三、技術者の確保、四、運搬車輛の確保、その他いくつかの点を着実にしつつ準備をすすめて行くことになった。

このリサイクル・ショップの成功例は近隣シルバーの一つ、伊丹市シルバー人材センターです。同市は独自のシルバー・ショップを



持ち、リサイクル電化製品、木工家具、アイデア作品、手作創作手芸品、切り花、野菜その他を常設展示している。

市のまつり、フェアに出展している。過去三年間の月平均売上は百七十万円を越す。この他に自転車のリサイクル・ショップも開設されている。行政とのスムーズな連繫が推測される。

伊丹市の場合のように活発な活動を展開するためには、前述の準備・調査を固めていくだけでなく、

センターの事務局との連繫を密にし、リサイクル・ショップの体制づくりを確たるものにする必要がある。

そのためにも、Cグループだけでなく独自事業推進委員会全体が、このプロジェクトを丸と成ってサポートする仕組が確立する必要が有る。

例えば、あるグループが自分のグループのPRのリーフレットを作成したい場合、通り一辺のものは、それぞれのグループがワープロで作成するのですが、少しまでもなものは、委員会の中で、手がけて頂く機関を設置して対応してもらふ必要がある。その他、一つのグループで何もかも出来る訳ではないので、都度問題提起に対して、委員のみなさんの御智慧とお力を貸して頂きたいと願っています。

豊中市シルバー人材センターの一層の発展を祈りつつ。





### 一年過ぎて思ひこぼし

第三班



篠原 直臣  
シルバー就業  
開拓員となって

一年余り過ぎ、日々顧客の開拓に努めている。入会当初は営業面で多少の自信はあったが、民間企業と違い戸惑いもあった。即ち、扱い商品によってターゲットが限られていたが、シルバーに入ってから業種は関係なく全てが対象である。色々な方の指導を受けながら何カ月が過ぎ、この仕事が出来たのだろうかと考えたこと度々である。何年か以前はあまり開拓活動しなくても会員数も少なく、色々な業界からの引合発注もあったように聞く。最近はどうか。不景気状態が続キリストラ、倒産、縮小など毎日のように耳にする。経費節減等、様々な要因で企業も個人も大変きびしくなってきた。半面働きたいと希望する会員の方が毎年増えて来ている。シルバー人材センターとして、出来るだけ多くの会員の皆様に就業出来るよう業種を問わず顧客にPR努力し

ている。最近、ある企業の社長さんに聞いた話。一人募集したところ三十〜四十歳の人が二十人位応募があったとのこと、びっくりである。このような状況の中、シルバー会員の就業先をいかにして確保するか問題である。しかし、開拓に歩いた時、まだまだシルバー人材センターの存在を知らない人が多い。時間をかけても、一人でも多くの人に利用してもらおうようPR説明が必要と思う。過去、シルバー人材に対する印象があまりよくなかった話も耳にする。これからはスピード時代、情報時代であり、一般企業との競争でもある。どんな小さな引き合い、問い合わせにも即対応受注する。それがやがて実績となって大きく広がり、一つ一つ改善しながら就業率アップに繋がっていくよう全員で努力していく必要がある。しかし、就業していただくのは会員の皆様である。希望職種に必ずしも満足行くとは限らないが、公平に就業紹介をしているが問題もある。家においても暇だから、健康の為などの考えだけでは就業は無理。シルバーだからといって甘えは禁物である。許される点は一つもない。個人では探せなかった仕事も、人材センターの会員として自分達の周辺知人などに、こんな仕事はどうか頼めばよいか分からないという人も多くいる。そこでシルバーの利用である。自分の働き口は自分で探す大きなチャンスである。

これからは、親切・丁寧・確実をモットーに明るく楽しく一生懸命頑張ろう。

### 交通安全週間の受賞に際して

第十一班



國澤 健一  
平成十六年五月二十日、火曜

日交通安全教育の一環として豊中自動車学校に於て、行われる競技種目が、自転車、モーター、自動車の三種目で安全の確認と運転技術を競い合うとの事で私達豊中シルバー人材センター・除草部A班からも三名出場となり、菱田氏は自転車、土井氏はモーター、自動車は私国沢のメンバーで出場ときまり午前十時に集合場所の豊中自動車学校控室にて集り夫々係員の方の所で、ゼッケン番号を付けて大会に望むべく待っていました。まもなく大会も始まり、各部の方々のご挨拶に次いで各部署の係員の方々のご紹介が終りいよいよ係部門の係の人の指示に従い全競技の割り当てられた場所に別れて行きました。私たちも自動車に向い教習指導員の方の指示するコースの道順を習得するために選手諸君一同自動車に乗り込み、コースを一巡してから試験が始まりました。私は二番目に車に乗り係員の指示に従い、コースを回り終り運転を終了、成績を待つため別の

### 電車内の風景

第四班



徳永美恵子  
先日梅田迄、阪急電車に乗った。

席に座り一息ついて車内を眺めると、午後のひとつきは集客も少な

く静かである。久し振りに乗る電車に私の心は何時になく嬉しい。

突然、けたたましい大きな笑声に周囲は吃驚した。見れば中央の座席に派手な四人の女学生が座っている。彼女達は、三時のおやつらしく各自が、紙コップのジュース。一人が棒つきのホットドッグ、二人目はソフトクリーム、三人目がおにぎり、四人目はマクドのハンバーガー。彼女達は時々、お互いの口にも入れ乍ら、大声で相変わらずわめいている。私は絶句。

視線を外す。周囲の人達は、不思議そうに？眺め、傍にグループの小母ちゃん達が、物珍しそうに、小声でお互い囁いていた。

途端に一人の女学生が立ち上り「おはほん、何しろじろ見てるんだよ、アホ!!」と言った。他の三人も「アホか、珍しいんか」とニヤニヤ笑っている。私は恐る恐る彼女達をウォッチングした。

四人の手首には手作りらしい揃いのフレスレットが目立っている。頭を見れば、同じ様に茶髪の髪の毛を一つにまとめてゴムで結んでいる。

野武士の頭さながら異様な感じがする。耳にはピアス、化粧はゼロ、短いスカート足の元には、お決りの白いルーズソックス、長さはちくはく、黒の革靴は踵を潰して突っかけスタイルである。制服は白の半袖ブラウス、衿元によれよれのエンジ色のリボンが、無造作に結んである。如何にも女学生らしい？と私

は苦笑した。

さて、二人が携帯電話をカバンから取り出すと、車内はやばいと他の一人が注意した。次は四人の化粧が始まる。一寸静かになった。

やがて彼女達は食べた後のゴミを紙袋にまとめた。彼女達は、何事もなかったかのように立ち上り乗り替え駅のホームへカバンを振り乍ら消えて行った。乗客達は嵐の後の静けさ、お互いが黙って顔を見合せた。今、七十五才の私。あの年頃には男女中等学校の生徒は、勤労奉仕、学徒動員と何一つ疑わずにお国の為と、純な気持ちで働いた。昭和二十年三月に卒業、同年八月十五日、戦争は終り、続いて敗戦の地獄を経験して日本に引揚げた。電車が梅田に着いた。今年も暑い八月十五日が私の心の中に新しい歴史を刻む。

### 目指せ「ゴミ減量」



第十一班 増田 謙 欄で「一期一会」という主

題で事業所からのゴミ排出状況アンケート調査した時の所感を述べました。今は市の環境部公園みどり推進課の新事業で市内全ての小学校から出る給食の食へ残しを遠心分離機に入れて脱水する作業を一人、週間交代で行っています。

脱水した生ゴミは堆肥化されて新生植物の土壌に使われ地球環境

を守り、又野菜を育て再び私達の口に入ります。昨年の夏にアンケートで回った時、多くの市民が生ゴミや他の廃棄物を減らす為に再利用の方法を考えなければという話をしておられました。

服部寿町の給食センターに集められる子供達の食へ残しを見て私の少年時代を思い出しました。終戦直後の食糧難時代、鳥取県の半農半漁の町で小中学校時代を過ごしました。母親が朝早く起きて少ないおかずを何とか工面して私達兄弟の弁当を作ってくれました。時には麦飯に梅干し一つの日の丸弁当、飯の端に沢庵と昆布。終友の中には貧しくて弁当なしの友も居ました。二人で一つの弁当を食へ合った事もあります。腹が減って昼弁当の時間が待ち切れずツマミ食いで先生に怒られた事もありました。そんな私でも「田舎はまだいい、都会の子はもっと大変だろうな」と子供心に感じていました。学校から帰ると空弁当と手製リュックを放り投げて友達と遊びに出かけていました。空弁当を見た母はきつと喜んでいたと思います。子供八人を育てた母は九十二才で今も健在です。

学校給食は子供達の健全な成長の為に栄養バランス良く作られています。外国では飢餓故に死ぬ子供が沢山いて日本に食糧援助を求めています。中国の諺に「水を飲む時、井戸を掘った人を思え」とあります。ご飯や野菜、果物を食

べる時は農家、肉や牛乳は酪農家、鶏肉や卵は養鶏家、海産物は漁師、其他多くの人の苦勞を思い感謝して食へるの意味です。

飽食時代の今、生命をつなぐ貴重な食物を無駄にしない事を皆が心掛けるべきです。住み良い環境保持の為に私達はゴミの分別収集や指定日、予約収集や有料収集等を守り、ゴミ再生も理解して「ゴミ減量」に協力しましょう。

### フランス小話と国民性



第十三班 岡本宗五男 去る七月十三日、フランス革命記念

日の前日、「とよなか国際交流センター」で、「シャンソンとチーズ・フォンデュを愉しむ会」と銘打って、ささやかなパーティーを開きました。シャンソンの好きな人たち五十人ばかり集まって「外国人緊急支援基金」の基金集めの一環として昨年に引き続き行なったものでした。

素人はなれしたシャンソン歌手もいて、大いに盛り上がりました。第二部でシャンペンとワインがほとんどよくいきわたったところで、フランス語の先生に小話をお願いしてありました。

初めの二つは私が選んだ大人しいものでした。最後に、フランスで通用している小話なのですと

いつて先生がしてくれた小話は殆ど受けませんでした。それは次のようなものでした。

『ある若い夫婦にとつて、初めての出産の時間が近づいていました。近頃、フランスでは夫が出産に立ち会つのが普通になつていますが、あいにく、その日、彼は交通渋滞の所為で、出産には間に合わなかつたことを病院の受付で知り、病室に 礎でいると、担当の看護婦さんにすれ違いました。そこで彼は、「無事終わりましたか」と聞くと、彼女は「無事終わりました。でも、足が。」というのを、聞きながら小走りに行くと、二人目の看護婦さんすれ違いました。「手が。」というのを聞き流しながら、もう少しで病室が見えてきたところで、三人目の看護婦さんであうと、今度は「肩が」と言うのが耳に入りましたが、それを聞き流しながら病室に飛び込みました。

ベッドの傍らには、毛布に包まれた丸いものがおいてあるだけだったので、彼が「赤ん坊は。」というと、先生は「手足も胴もなく、頭だけだったので、簡単でしたヨ」とこともなげに言うのでした。』

パーティーが終わってから、帰り際に先生に聞きました。「国民性の違いなんでしょうが、文化の違いというべきなんですか。」

「科学一辺倒の人類社会に対する警鐘ととらえるべきなんですよネ。」笑えない小話でした。

### ショート・ショート

第十班 脇本 篤人

#### ○芦屋

所用があつて、芦屋の山の手を歩いています。

道路脇に、カラフルなレジャーシートを敷いて男の子と女の子が、おもちゃ遊びをしていました。

可愛いなと通りかかった時、「化子ちゃん、ボクどうしたら赤ちゃんが出来るか知っているんだよ！」

ナンダ！このませたガキ！いえいえ、昔屋ですから何と言う早熟なお坊っちゃんだろうとあきれていました。

そこへ行くと女の子はいいですね。全然関心が無いと言う風情で「ふうくん」と言つたまま、おもちゃ遊びの手を停めません。

私はふっと救われたような気になつて行き過ぎようとした。

「太郎くん、私なんかね、どうしたら赤ちゃんが出来なくて済むかちゃん」と知つているのよ」

○柴刈り  
むかしむかしのそのむかし、

婆さん川へ洗濯に。  
大きなおならをやつたとき。  
爺さん山へ行つたけど  
柴を刈らずに  
クサカタ。

○句読点  
カネオクレタノム

・金送れ、頼む  
・金を呉れた、呑む  
・寝台車、頼む  
・死んだ、医者頼む

### 賛助会コーナー

- (株)イーバック (日出町)
  - (株)三和ビル (庄内東町)
  - (株)高尾鉄工所 (島江町)
  - (株)加納 (中桜塚)
  - (株)オカキン (原田中)
  - (株)渡辺製作所 (名神口)
  - (株)二葉 (本町)
  - (株)湯山製作所 (名神口)
  - (株)太鼓亭 (箕面市稲)
  - (株)大川歯車製作所 (庄内宝町)
  - (株)内田スプリング製作所 (千成町)
  - 三采源エフ・エフ・アイ(株) (三和町)
  - 日章アステック(株) (名神口)
  - 大阪理研工業(株) (神州町)
  - 名鉄観光サービス(株) 梅田支店 (大阪市北区)
  - やまかつ(株) (大阪市北区)
  - 岸岡企業(株) (庄内西町)
  - 東栄精機(株) (浜)
  - 国産部品工業(株) (新千里東町)
  - (有)イーパツク物流 (日出町)
  - (有)ティアンドビー (尼崎市小中島)
  - (株)メガネスーパー (本町)
  - 仏光山如来寺 (箕輪)
  - 正光山浄行寺 (走井)
  - 庄内神社 (庄内幸町)
  - 矢部文雄 (上野東)
  - 西岡孝 (本町)
- (敬称略)

### 編集のしおり

平成十五年通常総会は多数の会員出席のもと盛会裡に終了しました。

さて蔓延のスピードが少々鈍くなったとはいえ、いまだに原因の判らない新型肺炎(SARS)の脅威は、予断を許さない状況です。完全に収束するにはまだまだ時間がかかるようです。又世間の関心が急速に失せたものの、オウムの悪夢を彷彿させた妄想に生きる白すくめ集団騒動。

徹底した閉鎖的独裁国家の存在など不可解な世相は、先の見えない不況の現状と共に益々暗いものとなっております。

私達は、センターの方々が開拓された新しい仕事に選り好みしないでチャレンジしなければなりません。古いことばに「求めよ、さらば開かれん」

表紙の写真は藤田副理事長に、挿絵は山階さんにお願ひ致しました。

(編集委員 金子勝蔵)



想いのたけをふみに託して…

俳句

第二班 須藤 操

我逝かば此処にと思ふ花岬

袋掛瀬戸の浦風孕ませて

あかしやの花影負うて行くへんろ

蝸牛己が軌跡を輝かせ

大漁の旗靡かせよ鱈雲

第二班 村井実代子

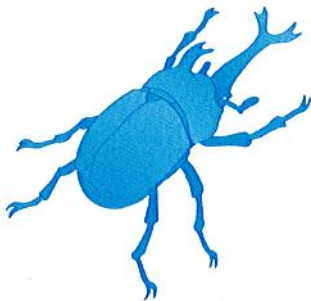
孫走り追って万博初夏の日に

梅雨晴間命日墓参り三世代

石垣に名も知れぬ花紅く夏

卓の上百合強き香りただよいて

不用火鉢雨水たまり子子が



同好会だより

書道同好会

第四班 山田徳康

書道同好会に入会して四年になります。諸先生方の御親切な御指導により今日まで練習に励んでいます。書く毎に書の難かしさを感じたら面白くなったり苦しくなったりの繰り返しですが頑張っております。初心者の方、練習状況御見学のうえ是非ご入会をおすすめ致します。

秋風起白雲花

癸未七月

徳康書

山田徳康

道德為師友

平成十五年夏

千代子書

片山千代子

長樂無極

栄子書

西村栄子

壺中日月長

癸未七夕

光代書

箕嶋光代

# ハイキング同好会

## 矢田丘陵

第十三班 羽生 恵光



曇り空、午後より雨の予想にも拘らず、二十七名の会員さんが参加されました。途中雨の予想、山道の注意、行程の変更、体調等の打合せ。JR大阪駅に向かいまして。大阪駅を九時に出発、鶴橋駅で近鉄に乗換え、大和郡山駅に十時到着。矢田寺方面行きのバス乗り場に向かいましたが、「矢田寺アジサイ祭」の最中で、臨時バスの乗車待ちの人々で長蛇の列。

私たち団体が乗車するには一時間以上待ちとの事。しかし、路線バスがガラガラで時間待ち。係員に問い合わせると、一停留所手前で下車、矢田寺迄歩けば早く着くとの事。全員に呼び掛け乗車。バスもすぐ発車。全員着席、貸し切

りみたいな十分間のバス旅行でした。

停留所より長い坂道の参道を上り山門に到着、約三十分。

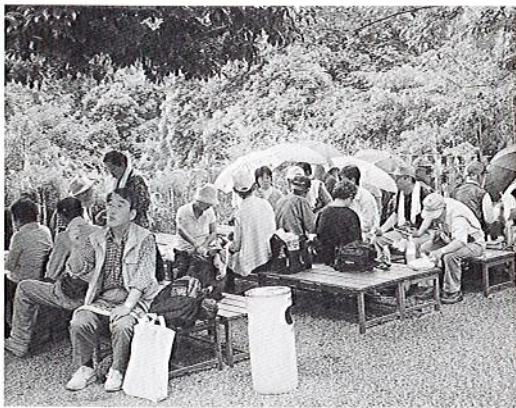
左側の道を登り、松尾山に向う山道の入り口でアジサイを觀賞したい人もいると思い、休憩。

曇り空を見上げながら、足を早め枯葉に注意しながら山腹の道をゆるい最後の坂を登り切ると「国見台」に到着。丁度十二時。

食事場所の松尾寺迄もう一息。松尾山に行かず、近道をして松尾寺の石段下に着く。急な石段を登り、食事場所に合流する。

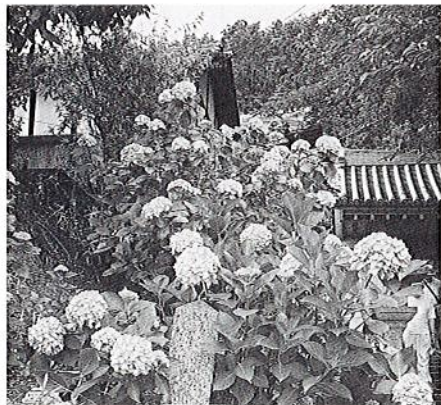
一時頃、雨がポツポツ降り始めた。大きな樹の下や本堂の軒下で雨具の用意。食事の片付け。雨のため、予定を繰り上げ、法隆寺に向かう。これより先は下り坂。

雨の降りも大粒の本降りになり、道も滑りやすく注意しながら休憩も無しに下山。



ゴルフ場の横を通り抜け、土壁の塀。法隆寺、中宮寺の中路を通り境内の門に無事到着。

全行程完歩。天気が良ければ、法隆寺、中宮寺の見学もよろしいのでは！



## テニス愛好会

第十三班 藤田泰通

相変わらず毎週一回午後二時間、その日集った会員でペアを交替しながらダブルスを楽しんでいます。

る。ふれあい、No三十四でラケットの進歩を調べたが、今回はラケットに張る糸を調べて見た。糸の素材は大別すると天然素材（カウツト又はナチュラリストリングと称ふ）と科学繊維素材（シンセティックストリングと称ふ）の二種類。天然素材は羊や牛の腸が原料。化学繊維はナイロン、ポリエステル、ポリアミド、ポリウレタン等が使われているが、構造の違いで二つに分れる。一つは「モノフィラメント」と呼ばれ糸の中心に太い芯（と云っても糸自身の太さが一・二〜一・三mm）が通り周りに細い繊維を巻きつけたもの。もう一つは「マルチフィラメント」と呼ばれ芯糸は無く澤山の細い繊維を束ねたもの。「モノ」は球離れが早く（硬い感じ）耐久性があり（切れにくい）ハードヒット向き。「マルチ」は球の保持が良くネットプレー向き。最近両方の長所をかけた合合わせた「モノマルチ」（妙な呼び方だと思いが）と呼ばれるものもあるとか。以上のような特性は試合の進展に大いに関係する所ではあるが、それよりも先づそれを使う人の肘、腕、手首等への影響を考えるのが良いだろう。高齢者はどんなスポーツを行うにしても先づ身体のごくにも無理のからぬ用具を選ぶ事が大切である。天然素材の糸は球の反発力、保持感、スピン性能、振動吸収性、張り上げ後状態の長期間維持力等総合的バランスが良いとの事。糸

を作る会社の多くが技術を結集しても中々羊や牛に追いつけないとは、今更ながら自然の偉大さに感服する次第である。天然鰻と養殖鰻のようなものであろうか。天然鰻と養殖鰻の値段差はどれ位だろうか。ラケットの糸では羊や牛の天然素材の安いもので、化学繊維の二〜三倍する所が難点であろうか。



**T・シルバートラベル会**

**モテロジエー**

第一班 山田英明

最近では道徳と言つこの二文字を忘れていく人が多勢いるのではないかと思う。一口に道徳と言つても不道徳、普通道徳、最高道徳の三ツに分ける事が出来ると思う。不道徳とは他人に迷惑をかけたもなんとも思わず太く短い生活

をすること。普通道徳とは他人には迷惑をかけず細く長い生活をする事。では最高道徳とは他人には迷惑をかけず、未廣がりにも生活をする事だと信じる。又自分に与えられた仕事には忠誠であり努力して尚且つ要求しないと言つ心がけが大切である。要求すれば腹が立つ。その腹が立つ前にすべての事に慈悲寛大自己反省、忠誠努力にして要求せずの精神で日々生活をして行くことが出来るように残された我々の人生を世のため人のために尽したいものです。

この最高道徳の精神を現在の若人に教えて行き実行してくれば今の暗い世の中がもっと明るいものになると信じる。心がけ一つで病気になることも軽くすむと思つ。上の者は下の者を慈しみ、下の者は上の者を尊敬して、自分の置かれてる身分自覚しこのモテロジエーの精神を実行して行けば職場も又世の中も小さい一つのグループの中もが明るいものになると思う。

**囲碁同好会**

第三班 梶浦武彦

蒸し暑い日が続いておりますが、同好会の皆様にはお元氣にてお過ごしのことと拝察致します。本年初旬の囲碁大会は去る二月七日に実施の運びとなり、十四名(内一名欠席)で各員四局の熱戦により優勝者、準優勝者を決定しました。

結果、黒田氏が四戦全勝で優勝され、坂の上氏が三勝一敗で準優勝されました。夏期の大会は間もなく開催の予定ですが、現在場所・日時等を検討中ですので後日ご連絡申し上げます。

尚、例会は毎週シルバー人材センター事務室奥の一室で開始時間を金曜日午後一時四十五分からとし、午後五時頃まで対局しておりますので時間にゆとりのある方のご参加をお待ちしております。

**文芸サークル**

「つるおい」6号は、みなさん

のご協力のお陰で、去る5月、無事刊行することが出来ました。

第7号は、再び、会長に金子勝蔵さんを再任し、9月には発刊したいと目下、原稿募集中です。

私たちの刊行する小冊子「つるおい」はこれまで、誌面の原稿・文字・レイアウト、すべて自分たちの手作りでしたから、パソコンの知識と技能のある方無くしては到底できないものです。そこで、パソコンの知識もあり、出版にも関係のおありであった佐藤あつさんがメンバーになっていただいたお陰で出来たようなものです。その佐藤さんも、家庭の事情でこの度、退会されます。この場を借りて御礼申し上げます。

以前は、現在在宅療養中の編集委員長の野口元会長が全てこなし

**美術サークル**

第一班 山階康雄

春や秋は近くの「箕面の滝」や「神戸のハーバーランド」等、山や川・港へスケッチに出かけます。八月の暑い季節は「くらしかん」で静物を描いています。

上手に描くことより、月に一回ぐらいいは、日常生活のなかに静かに一つの事に集中する「時の流れ」を共有しませんか。



# 不法投棄がここにまで及んで 緑道清掃班

豊中市南部には神崎川河川敷緑道、利倉西緑道、勝部緑道、穂積緑道の四つの緑道がある。緑道清掃班は三月、六月、九月、十一月、十二月と年に五回、この四地区の清掃に携わっている。

晴天の六月五日(木)午後一時過ぎ、勝部緑道清掃二日目の同班を訪ね、リーダーの岡田正澄さん、



私は「ふれあい」帽子

サブリーダーの船越敏雄さんと村春治さんに取材をお願いすることになった。

勝部緑道は昭和の終わり頃、千里川河川事業の一環として氾濫防止のため直線化した時、カットされた蛇行部が緑道に生まれ変わったもの。全長八二〇メートル、幅平均約三〇メートル、グリーンベルトの真ん中を遊歩道が貫く。緑道清掃班のメンバーは二〇人



ほど。雨天を避け、九時から四時までの勤務。竹ボーク、しゅろボーク、竹ざらえ、金ざらえ、ちりと、ひばさみ、草刈りがまなどの用具は、センターから専任の武藤誠爾さんが車で届けてくれる。落ち葉の量はナミではない。春は



一カ所まで一日に二〇〇袋、冬は四〇〇〜五〇〇袋も。伸びた雑草の中の落ち葉のかき出しもなかなか大変という。初夏の楠、秋の桜の落葉は側溝一杯にまで盛り上がりせる。

驚いたのは、不法投棄がここにまで及んでいるということ。自転車にバイク、テレビ、冷蔵庫、クーラーなどの家電製品から、自動車部品まで。

また、六月三日(火)利倉西でのこと。自転車のかごに置いた弁当と帽子が盗まれてしまった。初めてのことで、今後が気がかりという。緑道では最近浮浪者のテントが多くなつたと聞き更に驚かされた。

太陽の下、緑の中で汗を流すこの仕事が一瞬うらやましく思われたが、「女性にはきつい」ときつぱり。手洗いと食事をとる施設がないのもネック。

六月と九月は蚊にやられるので、蚊取り線香を腰に装備している人が多いため。はたから見ただけだと大変なんだなあと思感。本当にご苦労さまです。

十数年来続けて

## 第八班 佐藤 アツ

いる船越さんの、「第一は健康のため、そして仲間とのコミュニケーションのため」と言われた元気な笑顔が、頼もしく印象的でした。

